

## あすの親のための学級から

今の青少年は、荒廃が進んで、どうなるかわからない状態です。私は、考えたあげく「真にたのもしくて、賢い子供を育てるためには、生れた時からの家庭教育が

## 「末永き幸福な家庭を築く条件と心がけ」

講師 塩田正年

(高知大学教育学部講師)

どうしても必要。ゆりかごを動かす手が世界を動かす。」というところへ行きつくと、思います。立派な家庭を築く条件といったものをお話したいと思います。高知県は、学力が低く、非行率は四国一だと言われています。そして、よく、この原因は教師が悪いせいだと責めますが、その人たちは、高知県が離婚率日本一だということをご存じでしょうか。交通三悪も、全国で一、二番です。

私は、そういうことと、子供の

り(社会)から良くすることも悪いとは言えないが、構成員である人間(お父さん、お母さん)が自分から良くして行こうとする努力がどうしても必要だということをはっきりと肝に銘じてほしいと思います。幸わせは、歩いては来ません。よく、夫婦一体とか、子供を理解しなければ……などといいますが、夫と妻、親と子供は、別々の存在が重なりあっているだけなのです。ですから、わからないのが当然なのです。欠点を持っている人間が

家庭を構成しているのです。「私、相手を間違ったかなあ」という気持ちになってからが勝負なのです。

そこで、良い家庭の条件ですが、第一に、健康で若々しく張り切っていること。第二に、経済が安定していること(金がありすぎてもいけない)働かなくてはいけない。第三は、子供があつて、楽しくにぎやかで(一人っ子はいけません)楽しい人間関係であるということです。第一の健康の項では、夫婦の性が円満に営まれているかどうか(大きな条件の一つになります)。

第二は、私がとやかくいうところではありません。問題は第三のいちばんめんどうい「人間関係」にふれます。

よい人間関係をつくるには「力」ではなくて「愛」です。家庭が良くなるも悪くなるも、人間の練れぐあいと心の持ち方によって決まると思えます。みなさんは、生涯にわたる師をお持ちですか。鏡(師)がなければ、目で自分の顔を見ることができないのですから……。

その鏡は、生きた人間であれば一番良いのですが、いなければ、宗教や書物でも良いと思います。師を持たない人間は成長はしません。特に、女性は、問題が起るとすぐ泣きますが、泣くと混乱して頭が働きます。冷静に問題の

所在を考えなければならぬのに、つい他人のせいにしてがちです……。離婚の場合、七割は女性からの申し出だそうで、女性の考え方が大きなウエイトを占めています。

離婚は、男性より女性が大きな痛手を受け、さらに、罪もない子供に及びます。

結婚したら片目をつむりなさいということは、悪い所は見ぬふりをして、良い所だけを見て、亭主を動かす演出家になりなさいということです。主人を支え、どう励ますかが妻の課題です。

夫婦生活で、一番大事なのは「相手を信じるということである」という人が多いけれども、それは「あまい」と思います。

一番大事なのは、相手が信じられる人物でも、そうでなくても「決意すること」です。

「愛」とは、相手のために骨身を惜しまずにささげること、苦勞して支えることです。

女性としての強さは、男の前に出ることよりも、じつと耐え忍んで、亭主のエネルギーを引き出すことです。

夫婦の仲では、ほんとうにえらい方が、口でやつけないで、だまって行動で補っていくものです。

## 市民憲章

- わたしたちの郷土南国市は、土佐文化の発祥地、そしてまた、清新な生産都市であります。この誇りのうえにたち、さらに一大飛躍発展をとげるために、次の信条を守りましょう。
- ☆文化財と自然を保護し、新しい文化のかおり高い歴史のまちを築きましょう。
  - ☆青い空、清い海、緑の山野、そして豊かな太陽のふりそそぐ、健康で明るいまちにいたしましょう。
  - ☆川は市民の顔、清くて豊かな流れをつくりましょう。
  - ☆第三日曜日は家庭の日、全戸笑顔で子供を守り育てましょう。
  - ☆老人は市民の宝、小さい親切運動と福祉の豊かなまちにいたしましょう。
  - ☆三悪を追放し、交通事故のない住みよいまちにいたしましょう。